

# 店村眞積 40年の歩み

日本の楽壇を代表するヴィオラ奏者、店村眞積が音楽家人生40周年を記念して長年の盟友、ピアニストの練木繁夫を迎えてリサイタルに臨む。

桐朋学園大学を経て、イタリアへ留学し、リッカルド・ムーティに認められてフィレンツェ市立歌劇場でキャリアをスタートさせた。欧州での活躍後は、読売日本交響楽団、NHK交響楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団など、長年日本の主要楽団の要として活躍は周知のとおり。日本のオーケストラのレベル向上に貢献しつつ、小澤征爾の厚い信頼を得て、設立当初よりサイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団の一翼を担っている。

楽団での活躍とともに、ソリストとして協奏曲、室内楽と幅広く活躍し、ヴィオラをソロ楽器として確立させた存在でもあり、また、世代を超えて若き音楽家の育成にも力を注いでいる。永年のキャリアを経て、熟練の技を極めた店村眞積によるヴィオラ芸術の粋をご堪能ください。

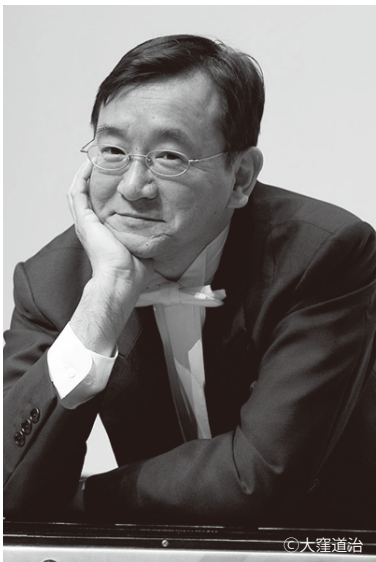


## 店村 眞積 ヴィオラ Mazumi Tanamura, Viola

日本音楽コンクールなどの受賞歴を重ね桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、P. ファルツリに師事。その後指揮者R.ムーティに認められ、フィレンツェ市立歌劇場首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。ジュネーヴ音楽祭など多くの音楽祭に招待され、桐五重奏団ともヨーロッパツアーを行う。

1984年に帰国後は、読売日本交響楽団ソロ・ヴィオリスト、2001年から2011年5月までNHK交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者を歴任する一方、ソリストとして国内外のオーケストラやアンサンブルと共演。サイトウ・キネン・オーケストラ、霧島音楽祭、水戸室内管弦楽団の主要メンバーを務める。「ヴィオラ・スペース」への出演など、日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開しCD録音も多数。近年はN響の主要メンバーと「ヴィルトゥオーゾ・カルテット」を結成し、バルトークの弦楽四重奏曲の全曲演奏を果たした。

現在、東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者、京都市交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。東京音楽大学教授、桐朋学園大学講師として後進の育成にも力を注いでいる。



## 練木 繁夫 ピアノ Shigeo Neriki, piano

1976年ツッソンのバイエニアル・ピアノ・コンクールと79年ピッツバーグのスリー・リヴァーズ・ピアノ・コンクールで1位に輝いた。

これまでにボストン響、シカゴ響、ピッツバーグ響、ワシントン・ナショナル響等と共演。アメリカ国外でもメキシコ国立響、フランス放送管、そしてN響を含む日本の主要なオーケストラと共演。また、76年より、チェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケルとともに世界各地を公演した。09年紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに数多く出演。

93年第24回サントリー音楽賞を受賞。90年シュタルケルと収録したD. ポッパーの作品のCDが、グラミー賞のソリスト部門にノミネートされた。97年にはオール・シューマン・プログラムの「パピヨン」が、文化庁芸術祭賞作品賞を受賞。1981年～2015年までインディアナ州立大学で教鞭をとった。

現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベト音楽大学非常勤講師、霧島国際音楽祭企画委員。リサイタルのみならず、室内楽、オーケストラ共演と幅広く活躍中。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

宗次ホール

くらしの中にクラシック

## 宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 ☎460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)